

「とちぎの子ども育成憲章」の実践

活動名	第35回栃木県少年の主張発表河宇地区大会		
年月日	平成24年8月21日(火)	場所	とちぎ青少年センター
参加者	発表者、学校職員、保護者、地域住民	人数	150名

関連する憲章の条文

子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい 社会の一員としての自覚を育てます。
子どもたちとのかかわりを深め 思いやりの心をはぐくみます。

【栃木県少年の主張発表河宇地区大会】

この大会は、宇都宮市並びに上三川町の中学生が日常生活の中で感じていることや考えていることを発表することで、若者としての誇りと自主性を育てるとともに、広く社会に訴えることにより、同世代の少年少女の意識の啓発及び青少年の健全育成に対する大人の理解と関心を深めることを目的として開催しています。

発表者は、宇都宮市並びに上三川町の中学生で、校内発表会等を通じて選出された各学校代表1名の生徒で、当日は29名が集合しました。

【主張発表の内容】

題材としては、家族、学校生活、世界平和、国際理解、福祉、地域との関わり、将来の夢などさまざまでした。多くの発表に共通していたことは、中学生らしい視点で、身近な経験や体験から学んだことを捉えなおし、これからの生き方について力強く思いや願いを述べていることや、人間関係に注目していることでした。



発表の様子

【発表会当日】

発表会は、とちぎ青少年センターの多目的ホールで行いました。観客席80名分は、各中学校の担当教員や保護者、家族、発表者の友人等の参観者でほぼ満席となりました。こんなにも多くの人の前での発表にもかかわらず、堂々と素晴らしい発表をすることができました。計画的に原稿作成に取りかかり、勉強や部活動などの忙しい学校生活の合間を縫って練習を重ねてきた賜物かと思われま。内容もさることながら、こんなひたむきな努力に聴衆者はみな共感し、感銘を受けながら聴いていました。



熱心に聴く観客

【審査】

審査は10名の審査員によって行われました。論旨・内容5観点と、論調・表現4観点で採点しました。論旨・内容は事前の作文により審査し、論調・表現は当日の発表により審査します。いずれの発表も、どの観点からみても伯仲していて、優秀賞・優良賞の皆さんの発表も、最優秀賞との差がほとんどなく、聴いている人の心に強く訴えかけるものでした。

最終的には、最優秀賞3名、優秀賞3名、優良賞23名を決定しました。最優秀賞受賞者の3名が、県大会に出場することになりました。



審査の様子



表彰式



記念撮影